

# 危険を予測し、回避できる児童の育成

武蔵野市立本宿小学校

## I 研究主題

### 1 主題

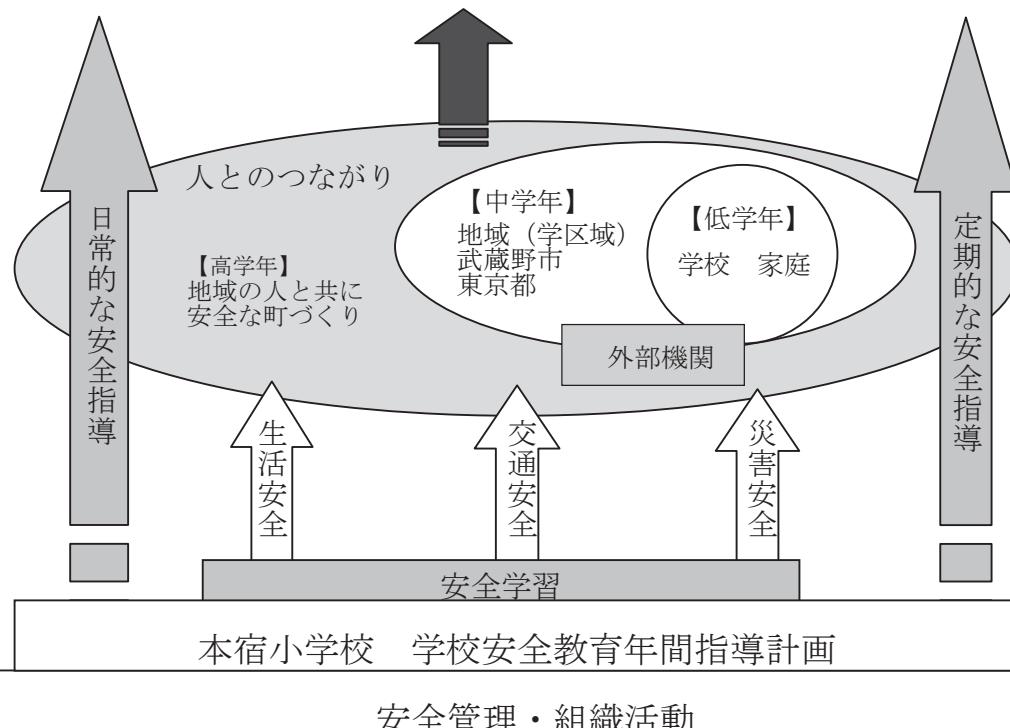
事件や犯罪の増加、多発する交通事故、首都直下地震等の危惧等、これらに児童が巻き込まれることなく、命を守るためにには、知識と行動力が必要である。しかし、児童の実態としては、知識を応用したり臨機応変に判断したりすることが苦手である。そこで、犯罪や事故、災害等の危険を予測し、回避する能力や、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育てていくために、本主題を設定した。

日常的・定期的な安全指導の改善・充実を図り、系統性を踏まえた年間指導計画に基づいて安全学習を指導することで、危険を予測し、回避できる児童を育成する。

知識・理解

思考・判断

行動・実践



### 2 目指す児童像

低学年

身の回りの危険に気付き、約束を守って安全な行動ができる児童

中学年

危険の原因を理解し、危険を予測した安全な行動ができる児童

高学年

様々な危険を予測し、進んで安全な行動をするとともに、身近な人々の安全にも気配りができる児童

### 3 安全教育の3本柱

#### 日常的な安全指導

必ず指導する基本的事項を確実に身に付けさせるために、日常的な教育活動の中での繰り返し指導

##### ○安全指導日（月1回 始業前10分間）

- 副読本「わたしたちの安全 CIAO チャオ（1～6年（教育出版株式会社）」を活用して指導する。  
内容を精選し、年間11回 分の年間指導計画を作成する。

##### ○朝の会・帰りの会

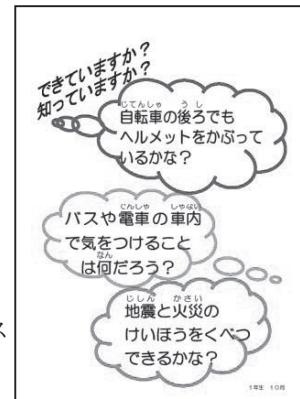
- 安全キーセンテンスの作成と安全指導の実施

- ・日常的な安全指導における繰り返し声（ひとこえ）かける指導を年間通して実施できるよう11か月分作成する。
- ・毎月、安全キーセンテンスを教室に掲示し、  
朝の会・帰りの会などで意図的に話題にする。



「チャオ」を使用した朝学習の様子

安全キーセンテンス



#### 定期的な安全指導

身に付けた知識等を体験的に理解させ、深化させる指導

##### ○避難訓練

- 様々な場面を想定した避難訓練の実施（毎月の避難訓練とは、別途実施する。）
  - ・完全予告無し（校長、副校长、担当者一名以外に予告せずに実施する。）
  - ・管理職不在時・水泳指導時・全校集会時・登校時・清掃活動時・給食時

##### □保護者と地域参加型の避難訓練の実施

##### □避難訓練実施後の評価と改善



水泳指導時避難訓練



登校時避難訓練

#### 安全学習

自分や他者の安全を守るためのよりよい行動などをじっくりと考えさせ、深め、追究させる指導

##### ○各教科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動（学級活動） 学校行事

- 「危険予測・危険回避」を柱にした授業の実施…「学校に不審者が入ってきたら」（生活安全）、「道路の歩き方について考えよう」（交通安全）、「火災時の避難行動について考えよう」（災害安全）など
- 関係諸機関を活用した授業（行事）の実施…セーフティ教室、交通安全教室など

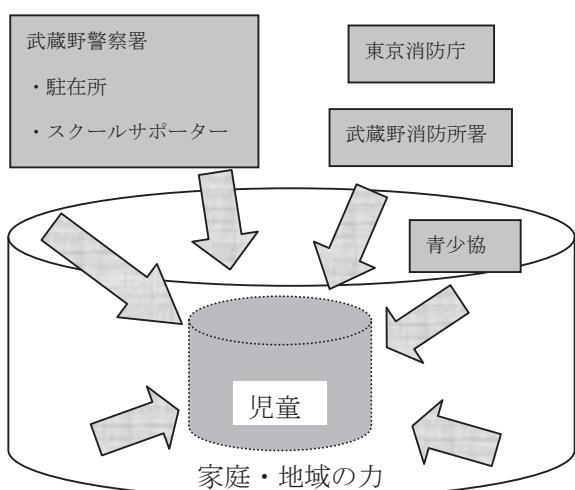
## II 研究内容

### 1 研究テーマ

家庭・地域・関係諸機関とつながり、それらの人・もの・ことや専門的知識を活用することで危険を予測し、回避できる力をより高める。

### Stage 1 家庭・地域・関係諸機関（人・もの・こと）からの学びの吸收

専門的知識、家庭・地域の情報や協力を得ることで、児童の安全に対する意識を高め、行動の変容が期待できる。



#### 専門的知識の活用例

##### 武藏野警察署

- <事前> ◆ 小学生の交通事故の現状を把握するために、よくある事故の内容について情報を得る。  
◆ 不審電話への対応方法や実際の不審電話の内容について情報を得る。
- <授業> ◆ 不審者に関する事案例等について情報を得る。  
◆ 不審者への対応方法について指導してもらう。

##### 武藏野消防署

- <事前> ◆ デパート（大きな建物）での火災時の避難方法についての情報を得る。
- <授業> ◆ 火災時の避難行動の解説をしてもらう。  
◆ 避難訓練時に適切な避難行動について指導してもらう。

#### 地域・家庭の力 活用例

##### 青少協（※）

(※) 「青少協」<青少年問題協議会>市立小学校の学区ごとに、児童の健全な育成のために組織された団体

「地域安全マップをつくろう」  
(4年)

- <事前> ◆ 地域安全マップづくりに協力していただく方を対象に教材 DVD「景色で学ぼう！新・地域安全マップづくりDVD」を青少協役員会で視聴し、授業の意図を理解してもらう。

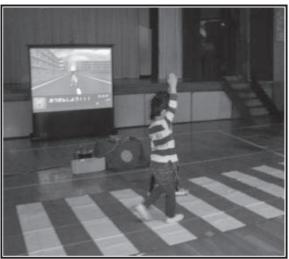


- <授業> ◆ 青少協・家庭・地域とのフィールドワーク  
青少協の方やPTA校外委員が児童に付き添い、地域の安全な所、危険な所を確認する。



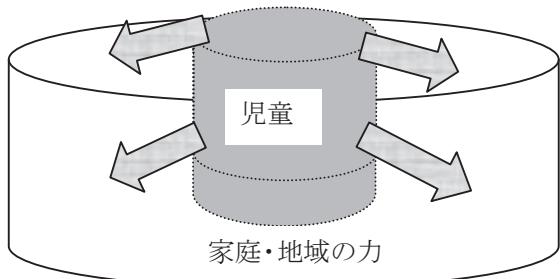
- <事前> ◆ 保護者会で、保護者からに自転車の乗り方、電話や訪問者への対応など、安全学習のために必要な児童の実情を聞く。  
◆ 学習内容を事前に共有することによって、家庭も安全に対する意識が高まる。

## Stage 1

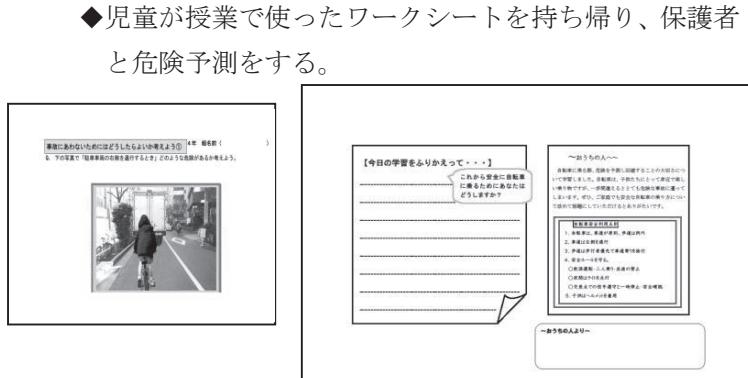
生活安全	<p><u>青少協との連携</u></p> <p>地区班集団下校 ～「子どもを守る家(※)」の所在地を知ろう～</p> <p>※子どもが身の危険を感じた時に一時的に緊急避難できる場所として武藏野市が、市民に協力を呼びかけ、募集している。</p> <p>地区班ごとに集まり、「子どもを守る家」の場所を確認をする。 青少協の方、「子どもを守る家」の方、担当保護者との顔合わせ</p>	<p>武藏野警察署</p> <p>不審者対応避難訓練</p>  
	  	<p>不審者から身を守る（2年）</p> <p>駐在所の方と事前打ち合わせ</p>
	<p><u>武藏野警察署との連携</u></p> <p>歩行安全教室（1年）</p>  <p>自転車安全教室（3年）</p> 	<p>交通安全協会</p> <p>自転車安全教室（4、6年）</p> <p>シミュレーションできる機材の活用</p> 
交通安全	<p><u>日本自動車工業会</u></p> <p>自転車乗車時の安全について考えよう（6年）</p>	
災害安全	<p><u>武藏野消防署との連携</u></p> <p>火災時の避難行動について考えよう（1年）</p>	<p>避難訓練</p> <p>煙体験</p> <p>起震車体験</p>   
	<p>消防士との打ち合わせ</p> <p>発煙機を利用した火災の疑似体験</p>	<p>AED 体験（5、6年）</p> 

## Stage 2 家庭・地域への学びの発信

家庭・地域へ安全に関する取組を発信することで、家庭・地域の安全に対する意識が高まり、行動の変容が期待できる。



### 家庭・地域への発信例



家庭・地域を取り込んだ取組（学校が、意図的に家庭・地域を取り込む場を設定する。）

### 意見交換の場

セーフティ教室後の地域・保護者・警察との意見交換会



### 地域・保護者参加型

地域・保護者参加型  
避難訓練



保護者会後、保護者と一緒に安全点検



### 安全に関する学習内容や取組を発信

安全だより

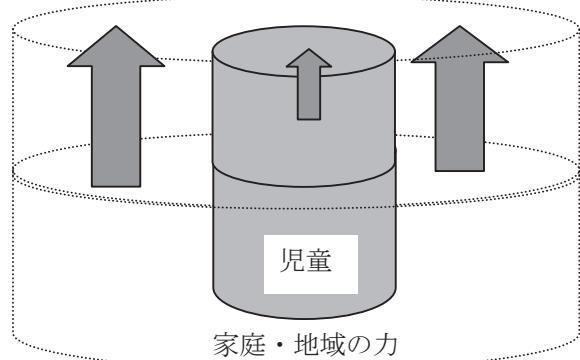
ホームページ

### 見守り

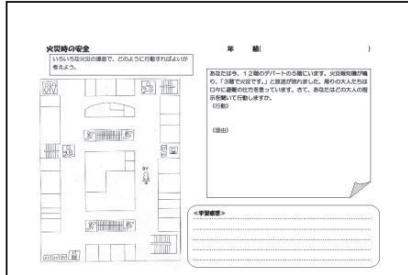
登下校時、家庭・地域・教職員での児童の見守り

## Stage 3 児童・家庭・地域の学びの高まり

家庭・地域・関係諸機関(人・もの・こと)や専門的知識を活用（吸収・発信）することによって、児童の安全に対する意識や実践に対する力が更に高まる。家庭・地域の安全に関する意識が高まり、行動が変容する。

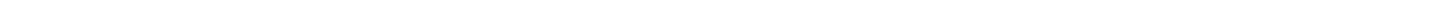


## Stage 2

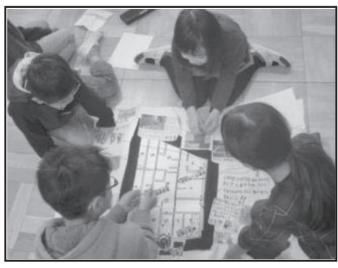
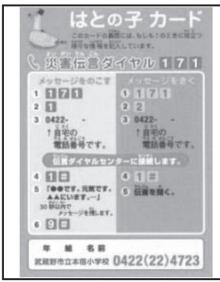
<b>生活安全</b>	<p>「地域安全マップ」をつくろう (4年)</p> <p><u>下級生・家庭・地域へ発信</u></p> <p>自分たちの地域の安全な所、危険な所を発表する。</p>	
<b>交通安全</b>	<p>通学路の安全な歩き方 (1年)</p> <p><u>家庭への発信</u></p> <p>安全な歩行についてめあてを決め、月に1回家に持ち帰り、保護者と共に自分の行動を振り返る。</p> <p><u>校内へ発信</u></p> <p>全校朝会で、全校児童に紹介する。</p>	<p><u>地域への発信</u></p> <p>武藏野警察主催「秋の交通安全運動」のイベントに参加し、交通安全の歌を広く市民に紹介する。</p>  <p><u>交通安全の歌を教えよう (1年)</u></p> <p>来年度入学してくる保育園児に交通安全の歌を教える。</p>
<b>災害安全</b>	<p>火災時の安全 (6年)</p> <p><u>家庭への発信</u></p> <p>火災時の避難行動について学んだことをワークシートに書き、家庭でも保護者と交流する。</p>	

## Stage 3

<u>青少協の取組 (青少協の発案による安全への取組)</u>	
<p><u>安全ポスター作成</u></p> <p>武藏野市児童青少年課・武藏野市立小中学校 PTA 連絡協議会と連携し、安全に関するポスター作りに全校で取り組む。できあがったポスターを各家庭や地域に掲示した。青少協役員と PTA 校外役員が選出したポスターは、地域の掲示板に通年で掲示し、地域への啓発とした。</p>     	<p><u>「子どもを守る家」スタンプラリー</u></p> <p>武藏野市主催の美化運動の際に、「子どもを守る家」を訪問する活動を取り入れる。「子どもを守る家」の協力員と顔見知りになっておくことで、緊急の時に訪問しやすくなることを目的としている。</p>



## 本宿小学校 学校安全教育年間指導計画の取組

	4月	5月	6月	7月	8月
指導	新年度当初 地区班集団下校 「子どもを守る家を知ろう」		学校公開時 地域・保護者参加型 避難訓練		水泳指導時避難訓練
					
学習	入学後すぐ 歩行安全教室 (1年)	学校に不審者が入ってきたら (1年)		夏休み前 不審な電話がかかってきたら (3年)	
					
	自転車での行動が増える学年に実施 自転車安全教室 (3年)		水泳指導の前	地域安全マップをつくろう (4年)	
					
安全管理・組織活動	年度当初 「はとの子シート」※の作成 緊急時に活用する個人カードを作成し、ランドセルに入れて携帯する		<年間を通して> 見守り 登下校時の用務主事・専科教員の学区域・校門付近の見守り 休み時間の週番の教員、用務主事の校庭での見守り		
		※緊急時に家庭と連絡が取れるよう自宅の電話番号を記載している。災害用伝言ダイヤル(171)のかけ方が印刷されている。			

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防災の日 引き渡し訓練	火災発生の多い時期 煙体験（2・3年）	冬休み前 不審者対応の避難訓練			来年度へ向けて、 今年度の課題把握 完全予告なし避難訓練 (校長、副校長、担当者 1名以外に予告なし で実施)	
					不審者にあつてしまったら（1年） 不審者から身を守る（2年）	新1年生へ向けて 交通安全の歌を 教えよう（1年）
遠足の前 安全に電車に乗ろう (2年)					安全学習のまとめ AED体験（5, 6年）	
防災マップをつくろう (2年)		火災の避難行動（1年） 火災の原因を考えよう（3年） 火災時の安全（5年）				
					自分たちにできることを 考えよう（6年）	
校門の施錠 登下校時のみ、正門を開錠 車の出入りは北門に限定	昇降口の施錠 不審者の侵入を防ぐため、施錠の徹底を図る。 教職員は昇降口の鍵を携帯し、学級や学年で開錠した場合は、必ず施錠する。	月に1回の安全点検 担当者を固定せず、点検箇所を毎月ローテーションし、多くの目で点検し精度を高める。 観点別の点検用紙を使用し、危険な箇所は、早急に対応する。				